

重要海域の評価表

再生区候補地評価表

St		1	2	3	4	5	6
場所		アーサーピー 礁湖西端	竹富南航路 南側	ウラビシ礁湖	黒島東礁池	黒島西沈水 離礁	カヤマ水路西 岸
中心位置	緯度	24° 17.602	24° 18.664	24° 16.120	24° 14.186	24° 15.621	24° 21.700
	経度	124° 08.782	124° 06.203	124° 01.698	124° 02.020	123° 59.441	123° 58.669
地形		礁湖底	礁湖底	礁湖底	礁池底・離礁	沈水離礁	水路
底質		枝状礫	枝状礫	枝状礫堆積・ 岩礁	枝状礫・岩礁	岩礁	岩礁
平均水深(m)		2-3	4	3-4	5	10	4
潮流		やや強い	弱い	やや強い	弱い	弱い	強い
被度の変遷 ¹⁾	1980年						
	1991年	×			×	×	
	2002年		×	×			×
優占種		トゲエダコモ ンサンゴ	スギノキミドリ イシ	カンボクアナ サンゴモドキ	マルツツミドリ イシ	アナサンゴ	カンボクアナ サンゴモドキ
シルトの影響 ²⁾							
水温上昇 ³⁾							
利用者の認識 ⁴⁾				(漁業)		(ダイビング)	
幼生定着数	定着板 ⁵⁾						
	着床具 ⁶⁾						() ¹⁰⁾
稚サンゴ密度 ⁷⁾							
幼生供給度 ⁸⁾							
オニヒトデ出現状況 ⁹⁾			不明				不明
コメント		礁湖への幼 生供給度は 低い。被供給 度も低い。	礁湖への幼 生供給度は 低い。被供給 度も低い。シ ルトの影響を 受けることも ある。水温が やや高くなり やすい。	礁湖への幼 生供給度は 高い。被供給 度は着床数 からみると高 い。	礁湖(主に黒 島礁池)への 幼生供給度 は高い。被供 給度は低い。 水温がやや 高くなりやす い。	礁湖への幼 生供給度は 高い。被供給 度は極めて高 いが、サンゴ 被度が低い。	礁湖への幼 生供給度は 低い。被供給 度は極めて高 いが、サンゴ 被度が低い。

1) 被度 × : 粗被度 (5%未満)、 : 低被度 (5-25%)、 : 中被度 (25-50%)、 : 高被度 (50%-)、1980年は環境庁サンゴ分布図から推定

2) : シルト分布地点から2km以内、 : シルト分布地点から2km以遠、環境省広域モニタリング及び自然再生調査(2002)結果

3) 30 以上水温継続時間: : 8時間以上、 : 4時間以上8時間未満、 : 4時間未満、灘岡教授シミュレーション結果

4) : あまり利用されていない、 : 利用されている、 : よく利用されている、自然再生調査委員会資料(2003)

5) : 1-5、 : 5-10、 : 10- /100cm²定着、野島助教授2004年調査結果

6) : -1、 : 1-2、 : 2- /1着床具 定着、自然再生調査(2004)結果

7) : 1-5、 : 5-10、 : 10- /m²、自然再生調査(2004)結果

8) : 幼生礁湖内残留率25%未満、 : 幼生礁湖内残留率25%以上50%未満、 : 幼生礁湖内残留率50%以上、灘岡教授シミュレーション結果より推定

9) : 出現数が増加、 : 出現数が減少、 : 出現なし、環境省オニヒトデ調査結果(2004)

10) 船進入不可のためカヤマ水路に設置した。